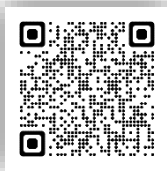


麴町中学校だより



第3号 令和6年5月22日発行

校長 堀越 勉



教育目標

自主性

社会性

創造性

伝統を踏まえ、教育目標 「自主性 社会性 創造性を育てる学校」に

麴町中学校が伝統的に守ってきた教育目標の変遷を調査し、令和6年度からは、目の前の子どもたちにとってよりわかりやすく、指導する側の教職員にとっても意識しやすい目標の表現としました。また「校訓 進取の気性」については、とても分かりにくいので、使用を控えることとしました。令和5年度までの教育目標「自律・尊重・創造」については、生徒自身がこの意味を理解し行動を律していくことが難しい現状がありました。自律と自由を混同してしまい、相手を尊重する集団形成にも影響が表れてきました。さらに、3年生の高校入試対策面接練習では、「自律」を説明できる生徒が、僅かという現実も浮かび上がってきました。

行動の目標として「自主性・社会性・創造性」を生徒に示しつつ、教育目標としてこれらを育む学校としました。

教育目標

自主性・・・自ら気づき、考え、判断し、行動する。

社会性・・・他者を価値のある存在として尊重し、自らを社会の中で生かす。

創造性・・・豊かな発想で新たな価値を生み出し、主体的に自らの進路を選択する。



学習指導要領の趣旨に基づき、教育活動における課題に正対し継続的な改善を図る。千代田区子育て・教育ビジョンの趣旨に基づく「つなぐ・つなげる千代田の教育」との関連性を常に図りながら、学校改革を進めつつ、自主性、社会性、創造性を育む学校づくりを進める。

教育目標の設定は、教育課程の編成手続きに関わります。次のような手続きを踏んで、4月1日のスタートを迎えています。

- ① 令和5年9月教育課程編成方針を全教職員に周知
- ② 令和6年1月教育課程の編成作業
- ③ 令和6年3月学校運営協議会にて教育目標の変更について提案・承認を得る
- ④ 令和6年3月教育課程届を提出

オリジナルと違う?! 卒業生から聞こえてきた違和感

令和5年度から、コロナ禍が明けて、保護者の方やご来賓を招いての学校行事が再開されるようになりました。そして迎えた「卒業式」の直後から、違和感を覚える本校同窓生のご意見をいただく機会が増えてきました。令和6年度の入学式後にも、複数の方々からご意見や問い合わせをいただいているところです。

その中身は「校歌の音程が以前と違う」というものです。これまでの4年間はコロナ禍の影響で、校歌を歌う場面が限られてきましたし、生徒以外の方々からご意見をいただく機会もありませんでしたから、表面化しなかったのかもしれませんが、専門家に検証していただいたところ、オリジナル楽譜から変更されていることがわかりました。「全体が2度低い」ことがわかりました。オリジナルの曲は現行よりも明るい校歌でした。3年生の卒業式には、明るい校歌を全員が歌って卒業して行ってほしいと願っています。



オリジナルの楽譜



千代田のみやいのみどりに は えー

最近の楽譜

生徒からの学校改革

「委員会活動が何か変だ」「真面目に取り組んでいる人が辛い思いをする」こんな生徒の間から出た声が、昨年10月、生徒会役員、各委員会等のメンバーの交代に伴って少しずつ大きくなってきました。本校の委員会制度は、希望者全員が委員とすることができます。令和元年度の導入当初は、自ら主体的に立候補する気持ちを育てる考え方であったようですが、現実の学校では、そううまくはいきませんでした。希望者が足りない委員会もあれば、80名を超える委員が集まり、運営に收拾がつかない委員会も出てきました。何も仕事をせず、名前だけ委員会に入っている生徒に対して、真面目に取り組んでいる生徒のストレスが飽和状態となってきました。

ここから、生徒提案で委員会の人数制の復活の道が開けてきました。当時の3年生と、1・2年生の議論が繰り返されました。最終的には、1・2年生の「真面目に仕事をする生徒が輝ける学校にしたい」という主張が通り決着しました。

5年ぶりの対面生徒総会

全校生徒を体育館に集め実施することができました。学校をより過ごしやすい場所にするために、生徒自身が議論し考え、活動していくのが生徒会活動です。「生徒総会」は国会で例えれば、本会議に当たります。各委員会等の活動方針に対して、各学級から質問が出ます。そして、それに対する答弁を各委員会等に持ち帰り、練り上げました。これまでのようなランダムな質疑応答ではなく、議事進行のルールに則った運営が展開されました。本部役員や各委員長の毅然とした答弁が行われ、新入生もしっかり聞き入っていました。ここから活動がスタートしていきます。



麹町中の3色 紺 (R6入学) ● エンジ (R7入学) ● 黄 (R8入学) ●

麹町中には、学年カラーと呼ばれる3つの色（紺色・エンジ色・黄色）があります。4年前までは、学年カラーをあしらった校章が輝いていました。当時の生徒会役員が「これだけは残してほしい」と嘆願した思いや、同窓生の皆様からの復活を望む声に後押しをいただき、今年度から復活しました。伝統ある名門校の証として、いつまでも大切に子どもたちの胸で輝き続けることを願っています。

